

日光彫 体験の教材

①②③④の中から好きな教材をお選びください。
(料金は全て同じです。)

日光彫を体験される方に

日光彫の体験は、「ヒッカキ刀」と呼ばれる手前に引いて彫る独特の彫刻刀を使って、その難しさ、また面白さを体験していただくものです。



① フォトフレーム

高さ180×幅220×奥行9mm



3方向で使用できます

フレーム台紙付き



どんなデザインにしようかな

② デスクBOX

高さ110×幅180×奥行13mm
(組み立て時、奥行65mm)



私はリビングのリモコン立てに使う



反対面は赤茶でちょっとおしゃれです。



彫る時
お持ち帰りの時は
コンパクト



彫る時は平らな状態なので安全です。

③ ハート形フェイスミラー

高さ180×幅205×奥行6mm



鏡立てがセットに入っているの便利です

これで笑顔のチェック



④ おぼん

直径180×奥行20mm

これで、おみやげはカンペキだあ〜



皿立てがセットに入っているの作品展や玄関にとお使いいただけます。



お持ち帰りの時はコンパクト



料金

店内での体験	教材費 1人分	1,200円(税込)のみ
移動先に講師を派遣する体験	教材費 1人分	1,200円(税込)
	講師料 1人	10,000円 (約50名に付き1人要)

■ご用意いただくもの

- 筆記用具……ボールペン、鉛筆、消しゴム
- タオル……教材の下に敷き、すべり止めに使います
- デザイン絵……11×11cm(あらかじめ切り取ってご用意ください)

デザイン絵を用意できない場合、また忘れてしまった場合でも、当店のサンプル絵をご利用いただけます。(裏面参照)

※裏面のデザイン絵を参考に、あまり細かいものは避けてください。

所要時間

約90分

- 左利きの方には、左利き用の「ヒッカキ刀」を用意いたします。
- 彫り上がった作品は、そのままお持ち帰りいただけます。

持ち帰り専用袋がついてます

袋には日光彫の歴史とヒッカキ刀の由来が明記されています。帰宅してから、ご家族の方と一緒にお読みいただけます。

お家に帰ったら
みんなに
教えてあげよう



名前を書いて
間違い防止

氏名記入欄

日光彫の歴史

1616年建立された日光東照宮の本格的な建立は、1634年に徳川家光の命で造替えられた時で、この時全国から宮大工、彫物大工、漆工、金工、絵師などの名ある芸術家が集って精魂こめて造り上げたそうです。特に幕府絵師に任命され、円熟を増した狩野探幽は弟子と共に、寝食を忘れて指定された所に指定の絵を描き続けたといわれています。この絵を刻んだのが、彫物大工です。彼らは、狩野派の絵を寸分の狂いもなく、ノミ一丁で叩き出した訳です。これらの彫物大工達が、仕事の余暇に、煙草銭目当に彫ったものが日光彫の起源といわれています。東照宮完成後、日光に残った人々は補修や整備にあたり、一方で彫物を彫り続け、江戸末期に産業化の足がかりを得て、土産物として普及するようになりました。(日光市発行パンフレット要要)

日光彫って
歴史が
あるのね



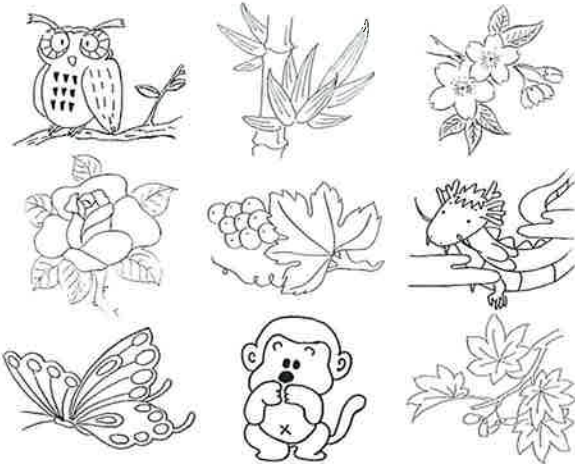
外観



2F店内体験室 小学生 約60名

当店で用意するデザイン画(一例11×11cm)

約25点ほどの絵からお選びいただけます



「ヒッカキ刀」の由来

日光市には、建築美、装飾美を世界に誇る、江戸時代初期に建てられた、日光東照宮があり、この社殿修復の際に、掻き落としにくい所に塗られた漆を除去するために、先端を折り曲げ、手前に引いて掻き落とす手道具が用いられていました。この道具が、江戸時代初期に至り、「ひっかき」「ヒッカキ刀」「日光三角刀」と呼ばれる、線彫用に改造され使用されたのが、日光彫の始まりといわれております。このように一本の「ひっかき刀」を手前に引いて彫られるヒッカキ彫で制作されることに、「日光彫」最大の特徴があります。そして、この日光彫の技法は、年季の入った職人さん達によって現在まで継承されてきました。



体験 日光彫



これが伝統的な
ヒッカキ刀

ヒッカキ猫



日光彫

有限会社 村上豊八商店

日光彫 体験の
お問い合わせは... TEL:0288-53-3811

〒321-1406 栃木県日光市松原町256 FAX:0288-53-3812

E-メールアドレス: toyohati@pluto.plala.or.jp

ホームページ <http://business2.plala.or.jp/toyohati>

日光彫の技 ヒッカキ刀

約90分で
伝統文化を
体験・学習



ヒッカキ猿